

工業俱樂部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB



■発行：(公社)鹿児島県工業倶楽部 ■企画・編集：総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町 9-1 県産業会館内
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020 <http://www.ikick.or.jp> E-mail: info@ikick.or.jp



平成31年 公益社団法人
鹿児島県工業倶楽部新年大会
各種活動紹介
若手経営者・後継者紹介
新会員情報

平成
31年

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部新年大会

◆日時/平成31年1月25日(金) ◆会場/城山ホテル鹿児島(エメラルド)



岩元正孝会長



前田芳實学長(鹿児島大学)



田崎寛二県商工労働
水産部長



塩田康一氏講演会
(九州経済産業局長)



片野田洋氏講演会
(鹿児島大学理工学研究科教授)



門久義副会長



(株)タナカサトル技術支援



(株)ドクターナチュレ



NPO 法人マンガプロジェクト鹿児島

会員の交流、資質向上のために毎年実施されている「工業倶楽部新年大会」が1月25日(金)に鹿児島市内のホテルで、約100名が参加して開催されました。新年大会の恒例となっております講演会は、九州経済産業局長 塩田康一 氏を講師にお迎えし、九州経済の現状と九州経済産業局が取り組む戦略分野等について、そして、鹿児島県のポテンシャルや特徴、強みを活かした持続可能な成長に向けた方策や、参考となる事例などについて講演していただきました。また2つ目の講演では、世界的に小型人工衛星や小型ロケットの需要が高まっている中、鹿児島で始まった小型ロケットプロジェクトについて、鹿児島大学理工学研究科教授 片野田洋 氏に講演していただきました。

講演の後の会員によるプレゼンテーションでは、4社が登壇してそれぞれのセールスポイントについて熱く解説するなど、今後の鹿児島の産業振興に向けて有意義な新年大会となりました。



会場風景



会場風景



会場風景

◆若手経営者プラザ

1月17日(木)

今回は阿久根市議会議員・ホテルコンサルタントの白石 純一氏を講師に迎えて、「企業経営とパブリックマインド」について講演していただきました。若手経営者プラザは、満50歳以下の工業倶楽部の若手経営者等で組織しており、資質向上のための研修・講演会等や交流、情報交換等を実施することにより、次代の産業界を担う人材を育成することを目的にしています。(代表：中崎啓文)



◆84 プラザ

2月4日(月)

鹿児島大学南九州・南西諸島域共創機構産学・地域共創センター連携推進部門 古里栄一特任准教授に「南の島の河川再生」と題して、土木工学や水環境学、応用生態工学などを活用した離島における河川再生技術について講演していただきました。

84プラザは1984年に異業種交流会として発足したプラザで、毎月「ロボット研究最前線」「農畜産物のチカラ」「薩摩切子」「異文化理解」など多様な講演会を開催しています。また、メンバーに鹿児島大学の名誉教授の皆さんが多いという特徴もあります。(代表：寶來豊晴)



◆八日会

2月7日(木)

毎月開催の例会を開催し、近況報告や情報交換を行いました。なお今回から代表に小谷さん、幹事に歌枕さんが就任しました。八日会は約20年の歴史を持っており、メンバーには面倒見の良い経験豊富な経営者の皆さんもそろっています。若手・中堅の経営者の皆さんがいろいろなことを教えてもらう、気心の知れた企業経営者の皆さんが、美味しい食事とお喋りを楽しみに毎月集う会です。(代表：小谷俊明 幹事：歌枕歩)



◆プラザいもづる

2月8日(金)

毎月開催の例会を開催、今回は居酒屋で開催し、近況報告や情報交換を行いました。会員所有の葡萄園でのバーベキューパーティーやカラオケなどプラザいもづるは気楽に参加できるアットホームなプラザです。(代表：本村嘉啓)



◆地域資源活用プラザ

2月19日(火)

工業倶楽部に所属する教授、名誉教授等が、会員が抱える課題に関して、当該会員と共に課題解決に取り組むプラザです。

これまでプロジェクトは、プロジェクトチーム「ウニ」、プロジェクトチーム「郡山」がありましたが、会員の技術トラブル等に関する支援を行う「地場企業への活力支援プロジェクト」を2月19日から始動させました。何かありましたら気軽にご相談ください。(代表：竹田靖史)



◆出水地区プラザ

2月22日(金)

今回は「微生物の限りない能力」についての講演を行いました。地域としてのまとまりが強い地域という特性もあり、毎回多くの参加者でにぎわいます。(代表：鶴田均)



各種活動紹介

◆始良・霧島地区プラザ

7月18日(水)

大口酒造(株)の緒方千織氏に「伊佐小町の開発しよちゅガールの挑戦」というテーマで講演していただきました。始良・霧島地区では最近、新規加入会員が増え、パワーアップしています。(代表:桑野正敬)



◆川薩地区プラザ

8月29日(水)

隔月開催の例会では、今回「私の人生」というテーマで、建築家の京都造形芸術大学大学院高崎正治教授に講演していただきました。

企業が多く立地する地域ということもあり、毎回多くの企業や薩摩川内市役所職員などの参加でにぎわっています。(代表:小城年久)



◆南薩地区プラザ

年に1~2回開催し、南薩地区会員の近況報告と情報交換を行っています。吹上浜砂の祭典やサイクルシティ誓言などユニークな地域づくりの先進地として知られる地域ということで、企業と地域が一体となって「ものづくり、人づくり、ふるさとづくり」に取り組んでいます。(代表:小田心一)



◆食産部会

9月18日(火)

「外国人技能実習生の活用」について、(株)清友 宮之原明子代表取締役に講演をお願いしました。食産部会は、食に関するあらゆることについて情報収集や研修会を行っています。

(部会長:藤崎茂実)



◆貿易部会

9月18日(火)

食産部会、84プラザとの合同例会を開催しました。貿易部会はいろいろな業種、いろいろな人が所属しており、多角的に情報が入る部会です。

(部会長:松下謙一)



◆工業連携(オランダに学ぶ)研究会

10月2日(火)、1月29日(火)

南さつま市金峰町の鹿児島県農業開発総合センターを視察後、スマート農業について、県農業開発総合センターの研究員、専門普及指導員との情報交換を実施しました。また、1月29日には、鹿児島市内のソーホーかごしまで、実際にオランダでオランダスマート農業の研究に取り組んでいる(株)エルム代表取締役宮原隆和氏にオランダ農業の現状と先進性について講演していただきました。(代表:弓場秋信 副代表:山下博美)



各種活動紹介

◆大隅半島地区プラザ

11月22日(木)

逆ラボツアーと合同で開催。「大隅の食の加工を中心とする産業」をテーマに設定し、(株)ナンチク、マトヤ技研工業(株)を視察しました。

現在活動は大隅半島北部中心ですが、大隅半島南部からの加入も大歓迎です。

(代表：益留福一)



◆第74回ベンチャープラザ鹿児島二水会

11月14日(水)

第74回ベンチャープラザ鹿児島二水会をジェイドガーデンパレスで開催し、約100名が参加しました。

ベンチャープラザ鹿児島二水会は、「面白い製品を開発したが営業力不足で販売が伸びない」「面白い提案があれば提携してみたい」「業務提携先を探している」「有望企業を資金面でサポートしたい」・・・、こうした悩みや希望を橋渡しする出会いの場を提供し、地方発ベンチャー企業の発展をお手伝いしています。今回のビジネスプランの発表は、下記の3社でした。

① キリシマ精工株式会社【霧島市】

患者と歯科医双方の負荷軽減を実現した次世代歯列矯正器具「EGG BRACKETS(エッグブラケット)」の販路拡大

② 株式会社Climbest(クラインベスト)【鹿児島市】

「伝わる外国語」で外国人顧客の心を鷲掴み!! 鹿児島島の翻訳会社による質の高い翻訳サービスの販路拡大

③ セイカ食品株式会社【鹿児島市】

こなみずきでん粉(甘藷でん粉)を使用した同社初のグミ商品「ぱりぷにゅ」の販路拡大



◆第8回食と健康に関するシンポジウム

11月28日(水)

包括連携協力協定を結んでいる、鹿児島大学と、今年度で第八回となる食と健康に関するシンポジウムを鹿児島大学稲盛会館で開催し、約200名が参加しました。今回は、世界に広がる「かごしまの食」をテーマに、鹿児島島の食品、農林水産物をどう海外に売り込んでいくか、幅広い成功事例発表を通して、その新たな可能性を探りました。今回の概要は下記のとおりでした。

講演I 高付加価値の県産産物を開発する! ~企業・自治体・研究機関・大学による「医福食農連携」地域戦略プロジェクト~ 鹿児島大学農学部 教授 侯 徳興 氏

講演II 独自の技術で県産プリを世界の「HAMACHI(ハマチ)」へグローバル・オーシャン・ワークス株式会社 代表取締役 増永 勇治 氏

講演III 老舗のさつま揚げ~輸出開始から43年。インドネシア現地生産も6年目~ 株式会社有村屋 代表取締役 有村 興一 氏

講演IV 安全・美味な有機栽培茶をEUへ~規制のクリアと新たな展開~ 株式会社下堂園 代表取締役副社長 下堂 蘭 元 氏

講演V 輸出の免許 HACCP etc. ~企業向け食品管理者養成コースを開講~ 鹿児島大学農学部 准教授 紙谷 喜則 氏

パネルディスカッション「海外進出を成功させる基本の知識と経営戦略」

パネリスト：講師5名(侯徳興、増永勇治、有村興一、下堂蘭元、紙谷喜則)

司 会：JETRO 鹿児島貿易情報センター 会長 弓場 秋信 氏



地域の未来を創る、次代を担う若手経営者紹介

みなぎる好奇心が今を創り、その経験は次代へと繋がっていく！
 鹿児島への想いや、協力してくださった人々への感謝の気持ちなど、想いを文字に表現できない程
 賜りました。辛酸・苦悩・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を期待いたします。



濱田酒造株式会社
 取締役 濱田 光太郎

濱田酒造に入社して2年になります。最初の印象は、従業員の方が明るく元気で、会社全体も元気があって躍動感にみなぎっていると感じました。

創業150周年を迎えて改めて感じるのは、酒造業界全体が一体となって海外に向けた展開が必要だということです。若い方々や、海外の方々の様々なニーズにお応え出来るよう、様々なお酒づくりにチャレンジできるのも弊社の強みでもあります。最近のスピリッツ類やクラフトジンブームにマッチした商品の開発にもチカラを注いでいます。

また、創業150年の技の結晶から生まれた、これまでの芋焼酎では味わえなかった瑞々しいライチを想わせる甘い香りがふくむ新商品、本格芋焼酎「だいやめ～DAIYAME～」を開発。焼酎好きの方はもちろん、外国の方や女性の方にもオススメできる新世代焼酎となっています。

素晴らしい会社に入り、かなりプレッシャーはありますが、それ以上に期待感が大きく、毎日ワクワクしています。

本格焼酎を真の國酒へ、更には世界に冠たる酒へ

濱田酒造は、明治元(1868)年、薩摩街道出水筋の第一宿場町「市来」で初代濱田屋伝兵衛が商いとして焼酎造りに取り組み酒造業を創業、昭和26(1951)年 四代目濱田屋伝兵衛こと「濱田光彦」が「敬天愛人」を社是に掲げ法人改組、「濱田酒造株式会社」を創立。

現代表取締役の濱田雄一郎(五代目)は、昭和50(1975)年入社、平成6(1994)年に代表取締役に就任、平成29(2017)年11月には鹿児島県酒造組合会長に選任、平成30(2018)年でおかげさまで創業150年の節目の年を迎えました。

少子高齢化、人口減社会の到来、趣味や嗜好の多様化で、国内の酒類業界を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、ラグビーワールドカップや東京オリンピック、大阪万博など、インバウンド需要の更なる伸長が予想されます。また、海外に目を転じると、アジア圏を中心に蒸留酒(スピリッツ)マーケットは年々伸長しています。「本格焼酎を真の國酒へ、更には世界に冠たる酒へ」の目標に向かって事業に取り組むことで、地域活性化へ寄与するとともに、これまでの150年の感謝の気持ちを飛躍の力へ変え、「濱田酒造にしかつけない焼酎」造りに邁進してまいります。



本格芋焼酎
 「だいやめ～DAIYAME～」
 ●度数/25度
 ●内容量/1800ml,900ml
 ●当社独自の「香熟芋」で仕込み、瑞々しいライチのような華やかで甘い香りが特長。炭酸割りがおすすめ。



「ジャパニーズスピリッツ 薩州魂」
 ●度数/40度
 ●内容量/700ml,200ml,50ml
 ●樽樽貯蔵させた本格麦焼酎とホワイトオークを用いた独自製法により、甘く芳醇なバニラのような香りが特長。



「ジャパニーズクラフトジン 樹々」
 ●度数/38度
 ●内容量/700ml,200ml,50ml
 ●「香り酵母仕込み」の本格米焼酎をベースに国産柚子などの7種のボタニカルを使用したジャパニーズクラフトジン。

〈伝統の蔵〉
 伝兵衛蔵



〈革新の蔵〉
 傳藏院蔵



〈継承の蔵〉
 薩摩金山蔵



創業明治元年



おかげさまで創業150年。

〒899-2101
 鹿児島県いちき串木野市湊町4-1
 TEL:0996-36-5771



共に鹿児島県の産業を興し造っていきましょう。



池畑 史朗(九州発電株式会社 発電事業部長)

この度入会させていただきました九州発電株式会社です。

弊社は、小水力発電事業を通じて鹿児島県内の豊かな水資源、中山間地域の未利用エネルギーを有効に活用し、地域の発展に寄与することを目的として、平成24年1月17日に設立しました。現在、鹿児島県内に

- (1) 船間発電所(肝付町・発電出力995kW・CO2年間約3,500 t 削減貢献)
- (2) 重久発電所(霧島市・発電出力980kW・CO2年間約3,240 t 削減貢献)
- (3) 大川発電所(南大隅町・発電出力1,990kW・CO2年間約5,550 t 削減貢献)
- (4) 一ノ谷発電所(肝付町・発電出力990kW・CO2年間約3,670 t 削減貢献)
- (5) 内之浦辺塚発電所(肝付町・発電出力800kW・CO2年間約2,450 t 削減貢献)

の5ヶ所の発電所を稼働しております。九州発電株式会社としての年間のCO2削減貢献は総計約18,360 tとなっております。

今後も引き続き、鹿児島県小水力利用推進協議会と協力し、鹿児島県内を中心に可能性調査を行い、各市町村・地域の皆様と連携を図りながら鹿児島県内における更なる小水力発電事業の展開と脱酸素社会構築の推進を進めてまいりますので今後とも宜しくお願いいたします。



高橋 淳二(鹿児島大学学術研究院工学系 准教授、大学院理工学研究科 機械工学専攻、工学部機械学科)

2010年3月に名古屋大学で博士(工)を取得後に、筑波大学研究員、名古屋大学研究員、青山学院大学助教を経て2017年10月に鹿児島大学に赴任いたしました。ロボット工学を専門としており、これまでに(1)産業用ロボットの知的制御、(2)群ロボットの協調制御、(3)実世界モデリング、(4)参加型センシング、(5)福祉・医療ロボット、(6)エネルギー回生モジュールの研究開発にたずさわって未解決課題を解決してきました。

鹿児島大学では、「ロボティクスの社会実装」をキーワードに、ロボットが人の生活環境に浸透していく際に障壁となる課題を一つ一つ解決し、人の生活の質の向上に繋げたいと考えております。工業倶楽部の皆様と交流し、実際の産業現場の現状を勉強させていただき、ゆくゆくは共同研究などを通して活動の場を広げていきたいと考えております。

ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



田中 覚(株式会社タナカサトル技術支援 代表取締役)

ものづくりの企業様の人手不足・生産性向上・採算改善などのサポートをさせていただいております。「人手不足対策」「生産性向上」「働き方改革」、経営者が解決すべき課題は本当にたくさんあります。「わかっています、やりますやります」と言いたいところですが、実際には「時間がなくて」「いざやろうとしたら何からやるか…」ということではなかなか手をつけられない方も多いようです。これらは放っておいては悪くなる一方ですね。そういうとき、一時的に社外から手伝いをもらって早く解決するのもよい手です。早い改善はより多くの利益を生み出します。弊社はIE技術をもとにした様々な手法や改善活動の支援などを通して、課題解決を力強くサポートします。大手メーカーでの生産技術経験があり、技術士(機械部門)でもあります。いろいろな業種にも挑戦中です。安心してお気軽にお声かけください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<https://www.kurobuta.net/>

鹿児島発 ▶ うまいものサイト



鹿児島県産黒豚の専門店
人気の特選六白黒豚を
インターネットで購入、
産地直送！
ギフトも喜ばれます。



<https://www.kokoyoka.net/>

鹿児島 **よかね** 


本物。鹿児島の逸品。
鹿児島県特産品協会が
厳選した特産品を
インターネットで
お取寄せ、発送が可能。



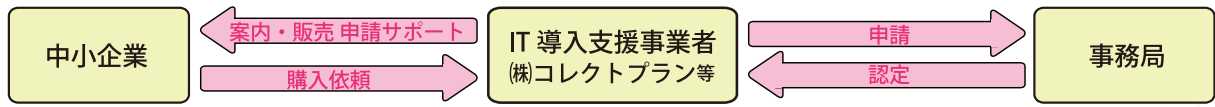
<https://www.okuyami.or.jp/>

おくやみ情報鹿児島
okuyami.or.jp

インターネットで、
おくやみ情報を無料閲覧
する事が可能です。
該当する画面から、
花や電報も贈れます。



中小企業者の皆さん！ 国の補助金を利用した IT 導入を検討しませんか！！



補助金 40 万円～ 450 万円 (補助率 1/2)

中小企業・小規模事業者等の生産性向上を実現するため、バックオフィス業務の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上 (売上向上) に資する IT ツールの導入支援を行います。

詳しくは Web
<https://it-hojo.jp/>
をご覧ください

最大 450 万円
IT ツール導入支援に
ご利用いただけます

2019 年度 (平成 31 年度) も「IT 導入支援事業」が実施される見込みです。

- IT 導入補助金の対象となる IT ツールは、
- 『販売管理や会計ソフト』
 - 『顧客情報等を管理するクラウドシステム』
 - 『職員間のコミュニケーションシステム』
 - 『飲食店のセルフオーダーシステム』・・・等の導入、設定費用が含まれます。

IT 導入支援事業者

(株)コレクトプラン 鹿児島市田上台 3-2 1-1 3
mail : info@correctplan.com
Tel : 099-265-6950

奄美大島、徳之島 ———— **そこは、豊かな亜熱帯照葉樹林と貴重な生き物のいる「生物多様性」の島**

2020 年夏の世界自然遺産登録を目指しています。



皆様のご理解、ご支援をお願いします。

鹿児島県

環境林務部自然保護課奄美世界自然遺産登録推進室